

第 57 回秋季検定 アンケート結果

2023 年 10 月 1 日に開催された第 57 回秋季検定会場にて収集したアンケートの集計結果をご報告いたします。

アンケート内容

以下のようなアンケート用紙を会場で受験者に配布・回収いたしました。

アンケート用紙

受験者の皆様、お疲れ様でした。日ごろの学習の成果はいかがでしたでしょうか。
今後の協会の活動の参考にさせていただきますので、アンケートにお答えいただければ幸いです。

1. イタリア語を学習する理由をお聞かせください。(複数回答可)

a. イタリア語が好きだから b. 外国の人とコミュニケーションしたいから c. 文化が好きだから
d. 語学学習が好きだから e. 旅行したいから f. 留学したいから g. 授業のため h. 仕事のため

2. 伊検を受験した動機、資格取得の目的は何ですか。(複数回答可)

a. 学習の目標として b. 資格取得が好きだから c. 先生など周囲の人に勧められて
d. 学校での成績評価のため e. 留学・就職の語学力証明として f. 学校での単位認定のため
g. 入試に有利なため h. 職場での昇級のため i. 学校や他の資格試験での科目履修・受験免除のため

3. イタリア語学習のために、何を活用していますか。(複数回答可)

a. 市販の参考書や問題集 b. NHK ラジオ・テレビ講座 c. 語学学校・通信・オンライン講座
d. インターネット 検定協会発行の… e. 過去問題集 f. eラーニング g. コンビニ・プリント
h. 上級者やイタリア人との会話・交際 i. その他か()

4. 最も苦手としている分野は何ですか？(1つのみ選択してください)

a. リスニング b. 文法 c. 語彙 d. 長文読解 e. 作文 f. 会話

5. 今年の春に続き、来年の春もオンラインで伊検を実施します。ご予定をお聞かせください。

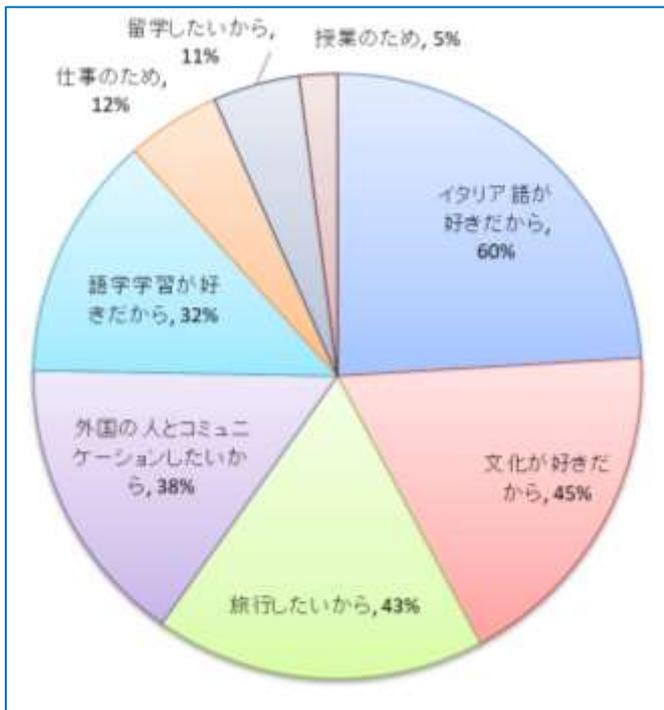
a. 受験する予定である b. 受験したいが機材などが無いので受験できない c. 未定
d. 希望する級が実施されないので受験しない。 e. オンライン検定には問題があるので受験しない。

検定の運営でお気づきの点や改善のご要望、また、受験体験や感想などがあれば裏面にお書きください。
*受験級に○をつけ、試験地名、教室名をご記入ください。
受験級 (1級・2級・準2級・3級・4級・5級) 試験地名 _____ 教室名 _____
*差し支えなければ、お名前をお書きください。 お名前 _____
ご協力ありがとうございました。 NPO イタリア語検定協会

出席者数 1,289 名、回答数 1,135 件、88.1%の方にご協力頂きました。

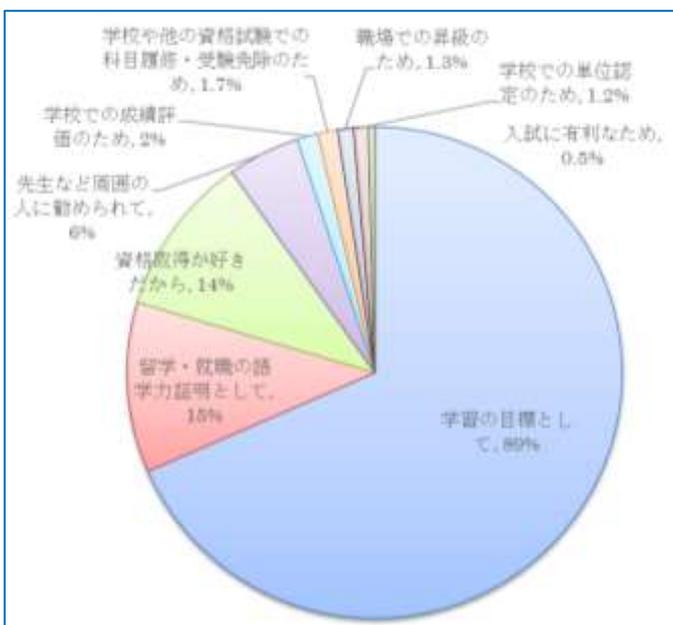
なお、解答傾向を明瞭にするため、今回は各問への特定の回答の数を全回答数で割り、"全回答数中の割合"として表示しています。複数回答可としたため、"%の合計は 100 を超えています。

Q1 イタリア語を学習する理由をお聞かせください。



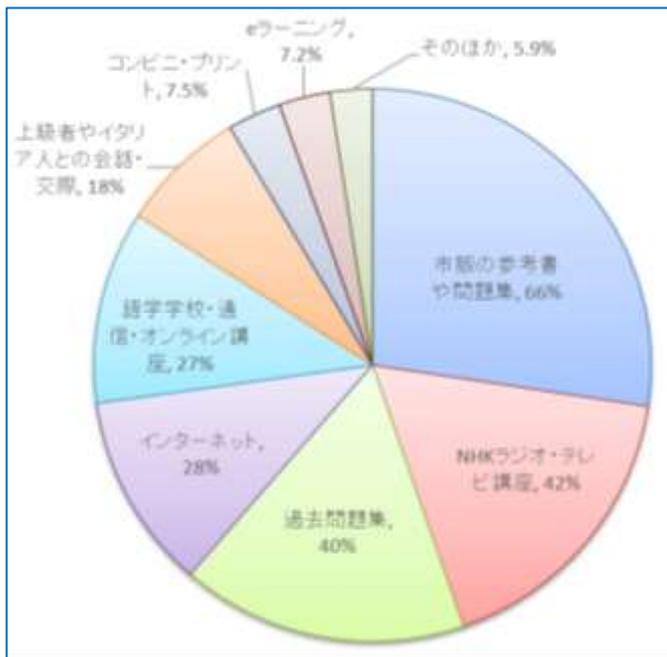
「イタリアが好きで現地の人とコミュニケーションしたいから」という趣旨の回答が大多数にのぼり、仕事や授業のためという理由を遥かに上回りました。皆様のイタリア思いが伝わってくると同時に、今後気軽に海外渡航が可能となって学習の意欲がますます向上するのを願わずにはいられません。

Q2 伊検を受験した動機、資格取得の目的は何ですか。



「学習の目標としている」という回答が大多数を占めたのは「自分自身の語学レベルを客観的に把握し将来の目標を定めることによって学力向上に繋がりたい、というイタリア語学習者の要望に応える」という当検定の設立目的をご評価いただいている、ということを示しており、嬉しい結果でした。また、資格取得の具体的な目的までは聴取不可能ではありますが、「第三者から認定されるため」という趣旨の回答が多くあったことは、伊検が資格として定着した証であると受け止めています。

Q3 イタリア語学習のために何を活用していますか。

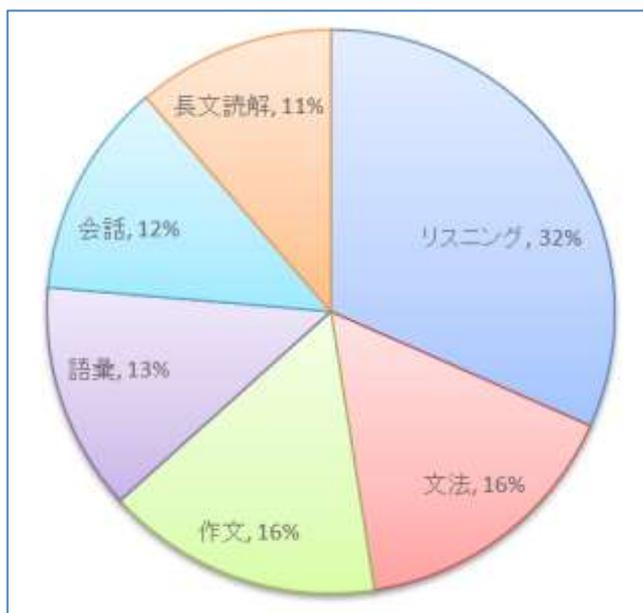


検定協会が発行している過去問題集、エラーニング、コンビニ・プリントの利用率が低いのは残念でした。過去問題(集)の利用率が予想外に低い(22.6%)結果となりました。

過去問題をマスターすることは試験対策の基本中の基本ですし、合格者の「声」のほとんどにそれが語られています。特にeラーニングやコンビニ・プリントは開催回ごと、あるいは分野ごとに手軽な料金で利用できますので、ご活用いただくと嬉しいです。

「インターネットを利用している」と回答された方のコメントには Duolingo、Youtube、映画などといったメディアやアプリが多かったのが目につきました。

Q4 最も苦手としている分野は何ですか。

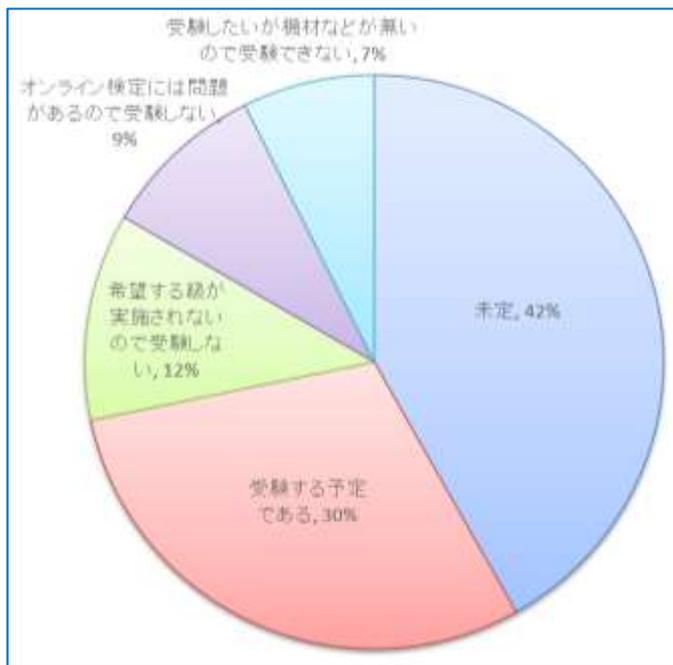


予想していたことではありますが、「リスニングが苦手である」という回答が目立ちました。

リスニングの教材が少ないということもあるのかも知れませんが、ネイティブの方々の話を聞く機会が少ないこともあるのでしょう。

eラーニングには冗長な繰り返しやポーズを省いて聴ける「クイックリスニング」が用意してありますので、繰り返し聞いてナレーターの声に慣れておくのが試験対策としてとても効果的です。料金も手ごろですので、ぜひご活用ください。

Q5 今年の春に続き、来年の春もオンラインで伊検を実施します。ご予約をお聞かせください。



「未定」の方が予想外に多くいらっしゃいました。主催者としては今後の PR が大きな課題です。公式サイトには実際の試験問題も全問試していただけるようにしていますので、ぜひ使い勝手などを事前に研究し、挑戦してください。
「オンライン検定には問題がある」というご意見も多数ありましたが、会場使用料や運営費を削減しない限り、検定の存続は困難であるという状況をご理解いただければ幸いです。

その他のご意見

今回は自由コメントが非常に少ない結果となりました。「暑かった」「寒かった」という声が目立ちました。また、座席が狭い（特に東京会場）という声も多く聞かれました。配席については改善策を検討し、より良い受験環境をご提供できるようにいたします。隣室からの騒音（他の催し物）が気になったという声も聞かれました（横浜）。

以下のようなコメントをいただきましたので、ご紹介いたします：

- 1年イタリア語をやっているが、これまでイタリア語教室に通ったことがなかったので、イタリア語を勉強している人たちと初めて会った。以前より学習環境は良くなったとはいえ、英語などのメジャーな外国語よりも学び辛いので、定期的に検定があるのは大変励みになる。春の検定を受けて、「イタリア人と話す機会が必要だ」と感じたので、今秋からイタリア語教室に通う予定。8年前にイタリアに行ったときは、挨拶しかできなかったもので、次回に行くときは交流できるようになりたい。（5級）
- 下位級の難易度がほかの語学検定、英検と比べて高い。独検では、4級の問題は比較的簡単で、リスニングにおいては、イタリア語検定のような長さのスク립トはない。4、5級の難易度は、簡単にして、2級や1級が難しいようにすれば、受験者も増えるのではないかと。リスニング、リーディングの両方に合格基準があるのはなかなかである。（4級）
- 試験実施に敬意。環境が厳しい中、これからも試験実施をよろしく願います。（4級）
- 40人もの方が2級を受験されるとは驚いた。いつも孤独で語学学校でも同レベルの人がいない。受験された方々と交流を図りたいので、そのような場所を設けていただきたい。（大阪2級）
- 試験官が明るかったもので、いい感じで試験を受けることができた。（東京）
- 会場や設備が綺麗で音響設備が良く、壁側の後ろの席だったが、リスニングがとても聞きやすく、受験しやすかった。（横浜）
- 作文はオンラインより、試験会場で実施してほしい。オンラインで試験を受けたが、会場を受験する方が集中力を保てる。紙の方は見直しができるが、オンラインは少々やりにくい。